



RI District. 2660 Mino-o Rotary Club

WEEKLY BULLETIN

2019-20



会報 No.2450
2020年4月16日発行

RI D.2660
箕面ロータリークラブ

2019-20 President of Rotary International Mark Daniel Maloney

国際ロータリー第2660地区2019-20年度ガバナー 四宮 孝郎

2019-20年度 会長：林 たかみ 幹事：片山 秀樹 広報・会報委員長：浦 収

事務局・例会場：〒562-0006 大阪府箕面市温泉町1-1 箕面観光ホテル Tel: 072-724-2781 fax: 072-724-1786
e-mail: mino-orc@abeam.ocn.ne.jp HP: http://mino-orc.net/ 例会日：毎週木曜日 18:30～

◆今週の例会プログラム◆

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
臨時休会

◆お知らせ◆

4月例会について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため下記の日の臨時休会が決定しております(4/16現在)
4月16日(木) 18:30～19:30
4月23日(木) 18:30～19:30
4月30日 定款による休会

◆会長挨拶◆

会長 林 たかみ

皆様に例会でお会いすることができなくなって、もうすぐ2か月になろうとしています。会員の皆様におかれましては、お変わりなく元気にお過ごしでしょうか？

このような事態に至り、毎週のように顔を合わせて一緒に食事をしひと時を共に過ごすことが、いかに大事な時間であるかということを改めて認識させられました。

今週4月16日の例会は本来であれば箕面RC51周年創立記念例会の予定でした。(我がクラブの創立記念日は1969年4月17日です。)新しい半世紀への第一歩となる年に、コロナウイルス感染拡大により全世界が大変な危機的状況となり、ロータリー活動にも甚大な支障をきたす状況となったことはとても残念でなりません。

しかし、RI会長や四宮ガバナーがおっしゃっているように、今こそロータリーにもできることがあります。先日地区より連絡があり、コロナウイルス対応のための地区補助金が臨時に申請できることになりました。早速、片山幹事、上島ロータリー財団委員長と協議し、現在不足している消毒薬を手配、入手して、学校など箕面市内の必要とされる方々に寄贈しようと動いています。幸い片山幹事は薬品関係のお仕事、上島委員長は広い人脈をお持ちなので、思いのほか事はスムーズに進みそうです。ロータリーには幅広い業種のスペシャリストが揃っていて、それぞれが連携してこういう時には大きな力が発揮されることが、本当に素晴らしいと思います。

5月連休明けには例会を予定してはいますが、まだまだ終息には時間がかかるかもしれません。1日も早く感染拡大に歯止めがかかり、再びロータリー活動を無事

再開できる日がくることを心から願っています。そして皆様、4月17日にはご自宅で、箕面RC創立51周年をお祝いする祝杯をあげ、皆様でこの困難に打ち勝っていきましょう！

◆幹事報告◆

・5月7日(木)例会後 理事役員会を開催する。

・ロータリーの友事務所より、新型コロナウイルスの感染状況の拡大に伴い、5月号の発行を中止し、5-6月合併号の発行とする。

・地区ホームページ「友愛の広場」開設のお知らせ
(下記 四宮ガバナーメッセージ参照)

前略 新型コロナウイルス感染拡大防止強化のため、緊急事態宣言が発令され一段ギアを上げた対応が求められております。各クラブにおかれましては、これまで適切なお対応を頂いておりますが、政府、大阪府の要請の順守の徹底に向け、より一層のご配慮をお願い致します。さて、この度、新型コロナウイルスの感染拡大に負けず、親睦を深め、奉仕活動を続ける当地区全てのクラブと会員のための交流の場として、地区ホームページに特設サイト「友愛の広場」<https://www.ri2660.gr.jp/yuai/> を開設致しました。休会で顔を合わせる事が叶わぬ会員同士の交流の場として、クラブ内、IM組内、地区内の情報交換の場として大いにご活用下さい。また、臨時週報用記事や卓話に利用して頂くため、随時、地区委員会から有用なコンテンツも配信致しますので合わせてお役立て下さい。

<ご利用方法の事例>

- ・ガバナーからのメッセージの配信
- ・地区委員会からの臨時週報記事、卓話に使用で

4つのテスト 言行はこれに照らしてから

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるかどうか

きるコンテンツ等の配信

- ・各クラブ会長からクラブメンバーへのメッセージ、幹事報告等の配信
(WEB例会の一部としてご活用下さい)
- ・現下の状況を踏まえての各クラブの新たな奉仕活動報告の配信
- ・新型コロナウイルスとの闘いに寄せるメッセージの配信等

<ご投稿頂く内容>

- ・ビデオメッセージ等の動画
- ・文書によるメッセージ
- ・写真

投稿方法等詳細は地区ホームページ「友愛の広場」に掲載しておりますのでご参照下さい。

なお、最初の投稿として、地区内全ての会員の皆様宛に、新型コロナウイルスとの戦いに

寄せる私のメッセージを掲載しておりますので、是非クラブ会員の皆様にご案内下さい。

「友愛の広場」ご利用に関してご不明な点がありましたらガバナー事務所にお問い合わせ下さい。皆様のご利用をお待ちしております。

◆2019年12月地区へ提出した『決議案』についての報告◆ 国際奉仕委員長 西宮富夫

1.地区担当委員会からの決議案に関する連絡

On 2020/02/25 14:28, 樋口信治 wrote:

箕面 RC 西宮様

大変ご無沙汰致しております。小生は地区公共イメージ向上委員長の他に、地区規定審議委員会幹事を仰せつかっております。ガバナー事務所にお送り頂いた箕面 RC さんからの「決議案」についてご連絡申し上げます。

地区規定審議委員会は偶数月に開催しており、本来ならば2019年12月の委員会で検討するべきところ、地区大会も終わった後に、地区規定審議委員会を開催する絶対的な理由はないので、12月地区規定審議委員会を中止することとなりました。そこで箕面 RC から上がっている「決議案」は2月20日開催の地区規定審議委員会で諮ることとなりました。

冒頭、立野委員長からは過去2年に渡って、地区からの決議審議会決議案の提案は地区委員会から上程されており、この度箕面 RC さんから決議案の提案を頂いたのは非常に喜ばしく、敬意を表したいと発言がありました。その後、委員会構成メンバーで協議が行われました。

今回上がっている決議案の内容は、「ポリオプラス」が達成された後の、「ポリオプラス」に代わる重点事業として「水と衛生」を取り上げるよう RI 理事会が検討する決議案提案になっています。2016年規定審議会時に開催された決議審議会でも、「ポリオプラス」以後の重点事業について、様々な提案が成されましたが、それ

らは全て不採択となりました。その理由は、未だポリオは完全に地球上から消滅していないため、その段階で RI はポリオの後の重点事業を決めるべきではないというものです。2017年からオンラインで行うようになった規定審議会でも、ポリオプラス後の重点事業提案は幾つか出されましたが、全て不採択になっています。このようなポリオプラス以後の重点事業提案が形を変えて出てくることに対して、RI 理事会は聞く耳を持たないだけでなく、ポリオに対して広く関心を集めるため、それまでポリオ撲滅と言っていたのをポリオ根絶という言い方に変えて、ポリオが完全に地球上から無くなるまでは、次の重点事業を決めないというのが大方の対応です。よって箕面 RC さんの決議案はこのままで地区から RI に上程しても、多分、RI 規定管理委員会が決議案として認めない可能性が高いと考えられます。

地区規定審議委員会で出された提案は、「水と衛生」は国際ロータリー重点テーマの一つに掲げられており、ポリオプラス以後という表現を外したとしても、このままでは決議案の体を為さないの、何か具体的な活動がイメージされる表現が必要である。「水と衛生」に関する多くの事業は発展途上国での援助活動になっており、援助する側の先進国でも取り上げることが出来る「水と衛生」に基づいた事業を提案する必要があるのではないかと、例えば、「ペットボトルに入ったミネラルウォーターを買わない運動」を世界各地に取り上げるように提唱してみるといった意見が上がっていました。

今年度の決議審議会に提案する「決議案」と、2022年規定審議会に提案する「制定案」募集案内が近日中にクラブ発送されますので、再度ご提案を頂けますようお願い申し上げます。

樋口信治

2.地区からの連絡に対する返信

On 2020/02/26 14:56, T.Nishimiya wrote:

地区規定審議委員会幹事 樋口信治さま

ご無沙汰しております。ご丁寧なメールありがとうございました。

今回クラブから提出させていただいた決議案の提案は、元々は2030アジェンダ GOAL6「水と衛生」に関するユニセフと WHO の共同レポートを見て、2030アジェンダ GOAL6 に協力したいという考えからスタートしています。

従って、地区規定審議委員会のお考えのように、ロータリアンがまとまってユニセフに寄付できる特別プログラムを活用するのは困難、としても、ロータリアンが個人的にユニセフへ直接寄付して協力する方法はあります。しかし、ロータリアンがまとまってユニセフに寄付できるかどうか知りません。

しかし、アドバイスも参考にさせていただき、何か方法があるかもしれませんので、次年度に向けて考えてみたいと思います。どうもありがとうございました。

箕面 RC 西宮富夫

◆臨時補助金事業について◆

地区より「COVID-19(新型コロナウイルス)対応のための地区補助金臨時費申請」の案内が来ましたので林会長、理事会メンバーと相談の結果、当クラブとして申請することしました。

・プロジェクト名

『不足している消毒用エタノールの調達、配布による福祉施設、小中学校の安全確保』

・概要

市場で入手困難になっている消毒用エタノールの代替商品を購入し市内の福祉施設、小中学校へ配布し有効活用することにより施設利用者、小中学生の安全を確保する。

・補助金申請額

50万円

◆米山奨学生 ご紹介◆

奨学生名 EANG PANHA(イアン, パンニャー)

出身国 カンボジア



☆EANG PANHA 様

お会いできる日を楽しみにしております☆

<ガバナー月信4月号掲載ガバナーメッセージ>

☆新型コロナウイルス感染拡大を乗り越えよう☆

ガバナー 四宮孝郎

1月16日に神奈川県で日本初の新型コロナウイルス感染が報告されてから2ヶ月半が経過しました。感染拡大は全国に広がり、社会・経済活動が滞り国民生活に大きな影響を与えています。

当地区内でも多数の感染が報告されており、日常生活、事業経営への影響は深刻なものがあります。日々、ご家族の健康状態を心配し、事業環境の悪化に心を痛めておられる方も多いと思います。ご心労、お気遣いに心より御見舞い申し上げます。

ロータリー活動にも大きな影響が出ています。3月～5月の地区行事や会合のほとんどが中止となり、また、大多数のクラブの例会も休会となり奉仕活動も中断しています。地区、各クラブで中止となりました多くの行事や会合の準備に携わってこられた皆様の心情、ご無念を拝察し、ご迷惑をおかけしたことへのお詫びを申し上げますと共に、これまでのご苦労に対して衷心より御礼を申し上げる次第です。

6月にホノルルで開催予定のロータリー国際大会も中止となりました。国際ロータリーのマローニー会長は、「国際大会の中止は大変残念ではあるけれども、革新的な試みに挑戦する新たな出発点である」と言われました。親睦と奉仕は、決して絶やしてはならないロータリー活動の根底をなす中核的価値観です。マローニー会長は、親睦と奉仕を継続するため、英知を集め、今後の行事や会合をより柔軟な考え方で実施するよう提案されているのだと思います。今、私達には、沈んだ空気を打ち破り、ロータリーの原点に戻り、仲間との親睦と連帯を深め、世の中に希望を与える奉仕活動を続けることが求められています。そのために、私は各クラブに、ビデオメッセージ、WEB会議等による代替例会の開催、臨時週報の発行、会員が集まらなくても可能な奉仕活動の実施等、新たな試みによるクラブ活動の継続をお願い致しました。環境が整えば、皆様の創意と工夫で、例会も出来るだけ早く再開して頂きたいと思っております。

ロータリーの奉仕活動の対象となる六つの重点分野、それは「平和と紛争予防／紛争解決」、「疾病予防と治療」、「水と衛生」、「母子の健康」、「基本的教育と識字率の向上」、「経済と地域社会の発展」です。新型コロナウイルスとの戦いは「平和と紛争予防／紛争解決」以外の五つの分野に関わるものです。私達は、総力を結集しウイルスとの戦いに挑まなければなりません。ロータリアンは「世界の行動人」であり「地域社会のモデル市民・リーダー」です。ロータリー精神を、そしてロータリアンとしての自覚と誇りを胸に、皆様が共に手を携えて困難に打ち克ち、試練を見事に乗り越えられることを信じております。